【Ｒ６年度】重点目標の取組・概要（久米田駅周辺整備の推進[市街地形成事業]）

担当課（内線）	都市整備課市街地再生担当（３１２８）	個別目標の方向性	地域の活性化を導く拠点の形成を進める
重点目標	２　経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める

現状と課題

久米田駅東側の駅前については、車寄せ空間がなく、朝夕ラッシュ時には、駅前が歩行者、自転車、自動車で混雑し、危険な状況となっており、駅へのアクセス性の向上、歩行者の安全確保が喫緊の課題となっている。

Ｒ６年度の事業費（内訳）

Ｒ６年度　**６４，４３３千円**
（内訳）用地買収、物件補償

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）

【中期的(4～5年後)にめざす成果】
喫緊の課題を解決するために、東側アクセス道路の整備を推進する。
今回は、段階整備となります。本整備は将来の鉄道高架化時になります。

【成果に向けての各年度の進め方】
Ｒ６年度　　用地買収、物件補償
Ｒ７年度　　物件調査、用地買収、物件補償、詳細設計
Ｒ８年度　　用地買収、工事（Ｒ８年度の１年間の予定です。）

【Ｒ６年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】
（期　間）　Ｒ６年４月～Ｒ７年３月
（対象者）　事業区域内権利者
（内　容）　用地買収、物件補償

Ｒ６年度以降の事業費（ランニング経費）

Ｒ７年度　　１９９，８３８千円
Ｒ８年度　　　５３，２００千円

取組の進捗・成果を測る指標

鉄道駅周辺の市街地に活気があると感じている市民の割合（久米田地域）
8.6％（2022）➡増加（2025）

成果・指標が未達成の場合の取扱い

※必ず縮小・廃止時期を記載すること
未定

【Ｒ６年度】重点目標の取組・ロジックモデル（久米田駅周辺整備の推進[市街地形成事業]）

ロジックモデル【事業立案時点】

市街地形成事業（春木駅周辺まちづくり事業）

【インプット】
- 地権者
- 町会
- 岸和田市
- 事業費

【活動】
- 物件調査
- 用地買収、物件補償
- 設計
- 工事

指標：市民満足度

【アウトプット】
- 春木駅大宮駅線の道路拡幅
- 歩車分離

指標：市民満足度

【中間アウトカム】
- 交通渋滞の緩和
- 歩行者の安全確保
- 駅へのアクセス性の向上

指標：市民満足度

市街地形成事業（久米田駅周辺まちづくり事業）

【インプット】
- 地権者
- 町会
- 岸和田市
- 事業費

【活動】
- 物件調査
- 用地買収、物件補償
- 設計
- 工事

指標：市民満足度

【アウトプット】
- 大町19号線の道路拡幅
- 歩車分離
- 車寄せ空間確保

指標：市民満足度

【中間アウトカム】
- 交通渋滞の緩和
- 歩行者の安全確保
- 駅へのアクセス性の向上

指標：市民満足度

【最終アウトカム】

指標：市民満足度

- 安全で利便性の高い地域拠点又生活環境の形成を促進する

指標：市民満足度

その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について　など）

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート①（久米田駅周辺整備の推進[市街地形成事業]）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度

道半ば

- 喫緊の課題を解決するために、東側アクセス道路の整備を推進する。

■ Ｒ６年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

道半ば

- 用地買収、物件補償

■ Ｒ６年度において実施・実現できたこと

- 物件調査
- 用地買収（用地協議、代替地確保、土地代金提示まで）
- 物件補償（補償金提示まで）

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指　標　名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	Ｒ６年度実績値
	鉄道駅周辺の市街地に活気があると感じている市民の割合（久米田地域）	％	8.6（2022）	増加（2025）	8.9（2024）

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート②（久米田駅周辺整備の推進[市街地形成事業]）

■ Ｒ６年度において実施・実現できなかったこと

- 用地買収（契約～所有権移転）
- 物件補償（契約～移転）

■ 課題分析

- 地域の課題解決のための事業に対する周辺住民への理解と合意形成の熟度を高める必要がある。

■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルで設定したとおりの活動（物件補償、用地買収）が実施できておらず、アウトプットに進んでいない。引き続き、活動の実施に努める

■ 次年度以降の予定・改善内容

- 引き続き、活動（物件調査、物件補償、用地買収）を実施していく。